大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部・研究科	福祉健康科学研究科	学科・専攻・課程	福祉健康科学専攻	コース（教育プログラムと分野）	健康医科学コース

最終更新日	令和６年（2024 年）１１月２９日

大分大学大学院　学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）		
1	高度な知識と知的能力	ディプロマ・ポリシー1 実践力 自らの専門領域に加え，医療，福祉，心理を俯瞰し，個人と地域を関係づけた多角的・総合的な支援を実践できる知識と技術を修得している． 特に，福祉健康科学及び健康医科学を深く理解し，医療に関する諸問題に対して多角的・総合的にアプローチできる専門知識と技術を修得している． ディプロマ・ポリシー2 研究力 自らの専門領域を基盤としつつ，医科学の視点や研究手法を取り入れ，福祉健康科学を深化させるための研究を進める上で必要となる知識と技術を修得している． 特に，健康医科学に関する課題を明らかにし，健康医科学の発展に向けた研究を進める上で必要な知識と技術を修得している．
2	確かな研究マネジメント能力	
3	社会を牽引する能力	

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP			評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施中	成績判定資料	単位取得状況調査	９月 ３月	毎年	全学年	科目別単位取得状況，学習態度	●	●	●	コース教員	学務委員会	成績不振者，態度不良者に対して，指導教員および科目担当者が指導する．	●	●	●	●	●	●		●
2	実施中	論文審査	修士論文	１月	毎年	修了予定者	学修・研究成果の検証	●	●	●	審査委員	学位審査委員会	学修の総括としての修士論文の到達度を評価するとともに，翌年度以降の学生指導に資する．	●	●	●	●	●		●	●
3	実施中	報告会	研究構想発表会	９月	毎年	全学年	構想発表会での発表内容，学修・研究成果の検証	●	●	●	コース教員	学位審査委員会	評価結果を今後の学修方針を確認・指導として活用する．	●	●	●	●	●			●
4	実施中	報告会	中間発表会	４月	毎年	全学年	中間発表会での発表内容，学修・研究成果の検証	●	●	●	コース教員	学位審査委員会	評価結果を今後の学修方針を確認・指導として活用する．	●	●	●	●	●			●
5	実施中	報告会	最終審査会（最終発表）	２月	毎年	修了予定者	最終発表会での発表内容，学修・研究成果の検証	●	●	●	審査委員	学位審査委員会	学修の総括としての最終発表の到達度を評価するとともに，翌年度以降の学生指導に資する．	●	●	●	●	●		●	●
6	実施中	成績分布表	成績分布状況の確認	適宜	毎年	全学年	全開講科目の成績分布の確認 偏りの大きな科目のインタビュー調査	●	●	●	学務委員会 教学マネジメント室	学務委員会 教学マネジメント室	厳密な成績評価が実施されているかどうか、成績分布状況の偏りを確認し、次年度以降のカリキュラム改善に資する．			●	●	●	●		●
7	実施中	面談・文書作成	研究指導計画書に基づく研究指導の実施	５月	毎年	全学年	研究内容ならびに進捗状況，今後の予定の確認・共有	●	●	●	学務委員会	学務委員会	研究の計画的な実施に活用する． 次年度以降の研究指導体制の構築に活用する．	●	●	●	●	●	●	●	●
8	実施中	シラバスチェック	シラバスチェック	年度末	毎年	全学年	学務委員会によるシラバスチェック	●	●	●	学務委員会	学務委員会	学務委員会においてシラバスチェックを行い、次年度のカリキュラム編成に資する．	●	●	●	●	●	●	●	
9	実施中	質問紙	修了時調査「教育・学修成果の検証に関するアンケート」	年度末	毎年	修了予定者	カリキュラム満足度，学生支援満足度，施設・設備の満足度	●	●	●	学生	内部質保証委員会	教育支援課が実施し、結果を学務委員会に報告する。翌年度以降のカリキュラム編成および学生指導体制の改善に資する。	●	●	●	●	●	●	●	●
10																					
11																					
12																					

大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部・研究科	福祉健康科学研究科	学科・専攻・課程	福祉健康科学専攻	コース（教育プログラムと分野）	福祉社会科学コース

最終更新日	令和６年（2024 年）１１月２９日

大分大学大学院　学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）		
1	高度な知識と知的能力	ディプロマ・ポリシー1 実践力 自らの専門領域に加え，医療，福祉，心理を俯瞰し，個人と地域を関係づけた多角的・総合的な支援を実践できる知識と技術を修得している． 特に，福祉健康科学及び福祉社会科学を深く理解し，福祉に関する諸問題に対して多角的・総合的にアプローチできる専門知識と技術を修得している． ディプロマ・ポリシー2 研究力 自らの専門領域を基盤としつつ，医科学の視点や研究手法を取り入れ，福祉健康科学を深化させるための研究を進める上で必要となる知識と技術を修得している． 特に，現代の福祉課題や地域の福祉ニーズを分析し，福祉社会科学の発展に向けた研究を進める上で必要な知識と技術を修得している．
2	確かな研究マネジメント能力	
3	社会を牽引する能力	

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP			評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施中	報告会	研究構想発表会	９月	毎年	１学年	構想発表資料	●	●	●	指導教員	学位審査委員会	研究構想を省察し、指導体制の編成にする．	●	●	●	●	●			●
2	実施中	報告会	中間発表会	４月	毎年	２学年	中間発表資料	●	●	●	指導教員・副査教員	学位審査委員会	研究の進捗状況を省察し、次年度以降の指導に資する．	●	●	●	●	●			●
3	実施中	報告会	最終審査会（最終発表）	２月	毎年	修了予定者	最終発表資料	●	●	●	指導教員・副査教員	学位審査委員会	研究の到達度を省察し、次年度以降の指導に資する．	●	●	●	●	●		●	●
4	実施中	シラバスチェック	シラバスチェック	年度末	毎年	全学年	学務委員会によるシラバスチェック	●	●	●	学務委員会	学務委員会	学務委員会においてシラバスチェックを行い、次年度のカリキュラム編成に資する．	●	●	●	●	●	●	●	
5	実施中	論文審査	修士論文	学年末	毎年	修了予定者	論文内容と成績評価	●	●	●	指導教員・副査教員	学位審査委員会	論文内容と成績評価の結果を次年度以降の院生指導に資する。	●	●	●	●	●	●	●	●
6	実施中	質問紙	修了時調査「教育・学修成果の検証に関するアンケート」	年度末	毎年	修了予定者	カリキュラム満足度，学生支援満足度，施設・設備の満足度	●	●	●	学生	内部質保証委員会	教育支援課が実施し，結果を学務委員会に報告する． 翌年度以降のカリキュラム編成および学生指導体制の改善に資する。	●	●	●	●	●	●	●	●
7	実施中	成績分布表	成績分布状況の確認	適宜	毎年	全学年	全開講科目の成績分布の確認 偏りの大きな科目のインタビュー調査	●	●	●	学務委員会 教学マネジメント室	学務委員会 教学マネジメント室	厳密な成績評価が実施されているかどうか、成績分布状況の偏りを確認し、次年度以降のカリキュラム改善に資する。			●	●	●	●		●
8	実施中	成績判定資料	単位取得状況調査	９月 ３月	毎年	全学年	科目別単位取得状況，学習態度	●	●	●	コース教員	学務委員会	成績不振者，態度不良者に対して，指導教員および科目担当者が指導する．	●	●	●	●	●	●		●
9	実施中	面談・文書作成	研究指導計画書に基づく研究指導の実施	５月	毎年	全学年	研究内容ならびに進捗状況，今後の予定の確認・共有	●	●	●	学務委員会	学務委員会	研究の計画的な実施に活用する． 次年度以降の研究指導体制の構築に活用する．	●	●	●	●	●	●	●	●
10																					
11																					
12																					

大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部・研究科	福祉健康科学研究科	学科・専攻・課程	福祉健康科学専攻	コース（教育プログラムと分野）	臨床心理学コース

最終更新日	令和６年（2024 年）１１月２９日

大分大学大学院　学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）		
1	高度な知識と知的能力	ディプロマ・ポリシー1 実践力 自らの専門領域に加え，医療，福祉，心理を俯瞰し，個人と地域を関係づけた多角的・総合的な支援を実践できる知識と技術を修得している． 特に，福祉健康科学と心理学を深く理解し，心の健康に関する諸問題に対して多角的・総合的にアプローチできる専門知識と技術を修得している． ディプロマ・ポリシー2 研究力 自らの専門領域を基盤としつつ，医科学の視点や研究手法を取り入れ，福祉健康科学を深化させるための研究を進める上で必要となる知識と技術を修得している． 特に，心の健康や心理学的支援に関する現代的課題を発見・分析し，臨床心理学を中心とする心理学の発展に向けた研究を進める上で必要な知識と技術を修得している．
2	確かな研究マネジメント能力	
3	社会を牽引する能力	

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP			評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施中	成績判定資料	学生の単位取得状況調査	９月 ３月	毎年	全学年	科目別成績（単位取得）状況，学習態度	●	●	●	コース教員	学務委員会	成績不振者，態度不良者に対して，指導教員および科目担当者が指導する．	●	●	●	●	●	●		●
2	実施中	質問紙	修了時調査「教育・学修成果の検証に関するアンケート」	年度末	毎年	修了予定者	カリキュラム満足度，学生支援満足度，施設・設備の満足度	●	●	●	学生	内部質保証委員会	教育支援課が実施し、結果を学務委員会に報告する。 翌年度以降のカリキュラム編成および学生指導体制の改善に資する。	●	●	●	●	●	●	●	●
3	実施中	論文審査	修士論文	１月	毎年	修了予定者	学修・研究成果の検証	●	●	●	コース教員、学位審査委員	学位審査委員会	学修の総括としての修士論文の到達度を評価するとともに，翌年度以降の学生指導に資する．	●	●	●	●	●		●	●
4	実施中	報告会	最終審査会（最終発表）	２月	毎年	修了予定者	最終発表会での発表内容，学修・研究成果の検証	●	●	●	学位審査委員、コース教員	学位審査委員会	学修の総括としての最終発表の到達度を評価するとともに，翌年度以降の学生指導に資する．	●	●	●	●	●		●	●
5	実施中	報告会	研究構想発表会	９月	毎年	全学年	構想発表会での発表内容，学修・研究成果の検証	●	●	●	コース教員	学位審査委員会	評価結果を今後の学修や指導に活用する．	●	●	●	●	●			●
6	実施中	報告会	中間発表会	４月	毎年	全学年	中間発表会での発表内容，学修・研究成果の検証	●	●	●	コース教員	学位審査委員会	評価結果を今後の学修や指導に活用する．	●	●	●	●	●			●
7	実施中	実習運営協議会	臨床心理実習運営協議会	２月	毎年	全学年	実習目標の達成度 来年度の改善案	●	●	●	コース教員、実習施設担当者	学務委員会	実習目標の到達度を評価し，改善点を次年度の実習内容に反映させる．	●	●	●	●	●	●		●
8	実施中	面談・文書作成	研究指導計画書に基づく研究指導の実施	５月	毎年	全学年	研究内容ならびに進捗状況，今後の予定の確認・共有	●	●	●	学務委員会	学務委員会	研究の計画的な実施に活用する． 次年度以降の研究指導体制の構築に活用する．	●	●	●	●	●	●	●	●
9	実施中	シラバスチェック	シラバスチェック	年度末	毎年	全学年	学務委員会によるシラバスチェック	●	●	●	学務委員会	学務委員会	学務委員会においてシラバスチェックを行い、次年度のカリキュラム編成に資する．	●	●	●	●	●	●	●	
10	実施中	成績分布表	成績分布状況の確認	適宜	毎年	全学年	全開講科目の成績分布の確認 偏りの大きな科目のインタビュー調査	●	●	●	学務委員会 教学マネジメント室	学務委員会 教学マネジメント室	厳密な成績評価が実施されているかどうか，成績分布状況の偏りを確認し、次年度以降のカリキュラム改善に資する。			●	●	●	●		●
11																					
12																					